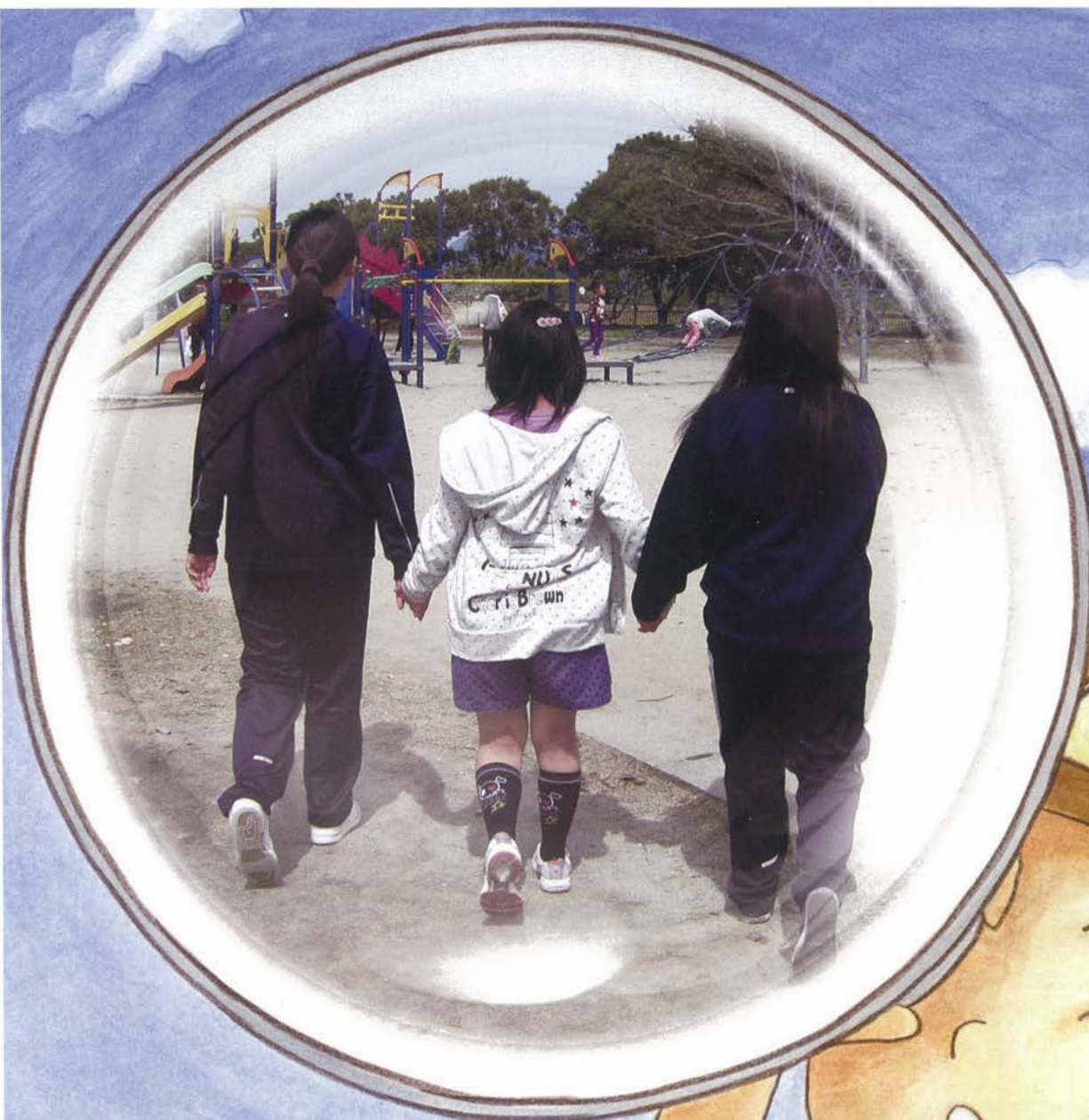


# おごおり 社会福祉協議会だより

No.163

3  
2017



ボランティア特集

## 「新しい自分発見！」



発行：社会福祉法人 小郡市社会福祉協議会 福岡県共同募金会小郡市支会  
小郡市二森1167-1 総合保健福祉センターあすてらす内  
TEL 73-1120 FAX 72-5694 ホームページ <http://shakyo.ogori.net/>



福岡県小郡市社会福祉協議会  
福岡県共同募金会小郡市支会  
会長 吉塚 邦之

厳しい寒さもようやくなごみ、穏やかな春を迎え、皆さまのご健勝とご多幸を心からお慶び申し上げます。

また、平素より皆さまには、社会福祉協議会の地域福祉活動に対するご理解とご協力はもとより、赤い羽根共同募金運動につきましても格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、厳しい社会経済状況が続くなか、個人の価値観やライフスタイルの多様化、そして地域や家族における「つながり」の希薄化などが要因になり、さまざまな社会問題が発生しています。小郡市におきましても急速な少子高齢化の進行とともに、世帯の小規模化や高齢者のみの世帯の増加が確実にすすんでいます。地域でともに暮らす人々が、地域を構成するかけがえのない一人として生活するためには、すべての市民が住み慣れた地域や家庭の中で、お互いに思いやりの心を持ち、ともに助け合い、支え合うことが益々重要になっています。



私ども小郡市社会福祉協議会では、市民の皆さまと共に、人と人との「つながり」を再構築し、一人ひとりの人権を大切にしながら、安心して暮らすことができるよう、「支え合う」ための仕組みづくりをめざし、

- ふれあいネットワークの推進
- 福祉協力者などの育成
- 生活困窮者の生活相談及び支援の充実

などを重点的に取り組んでおります。

社会福祉協議会の様々な地域福祉活動は、皆さまの「参画・参加」のご厚情の上に成り立っております。

新年度も活動の財源となります賛助会員のご加入や赤い羽根共同募金運動につきましても、市民の皆さまをはじめ、関係機関・団体など多くの方々のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 【平成29年度】小郡市社会福祉協議会 賛助会員加入のご協力をお願い致します

小郡市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」に向けて地域の福祉活動に取り組んでいます。皆さまからの賛助会費は福祉活動を行うための財源の一つとして活用させていただきます。

福祉のまちづくりに、ご理解とご協力をお願い致します。

◆団体会員 一口 五千円

◆個人会員 一口 千円

※何口でも加入いただけます

ご加入ありがとうございます

### 【団体会員】

・下町老人クラブ

### 【個人会員】

- ・松尾キヨノ
- ・鳥口千鶴子
- ・鳥口 油雄
- ・平嶋 宏規
- ・平嶋 幹郎
- ・平嶋 好恵
- ・荒木 英子
- ・荒木 良哲
- ・高田 卓也
- ・高田ミネ子
- ・平川 孝子
- ・小田 将司
- ・小田 憂子
- ・重松 季弘
- ・重松クニ子

- ・重松 秀一
- ・重松 智香
- ・重松 佑季
- ・吉田 信也
- ・井手 鉄子
- ・野田 利郎
- ・久保山永愛
- ・久保山大雅
- ・久保山勇斗
- ・鹿毛 光盛
- ・川口 泰一
- ・川口 英訓
- ・川口マツヨ
- ・佐藤加那子
- ・鶴 勝嘉
- ・中野美枝子

※順不同 敬称略

(11月1日)

2月15日受付



# ボランティア特集 「新しい自分発見！」

## 【2016 福祉ボランティア養成講座】

I 「ボランティア活動がもたらす健康と幸せ」 11.27 (日)

講師 栗木 剛 氏 (mottoひょうご事務局長)

II 「小郡の現実とボランティア」 12.9 (金)

講師 小郡市役所福祉課 吉富 彰希子 氏

弥生の里デイサービスセンター 丸山 哲明 氏

NPO法人しょうがい者と共に生きる「みんなのかえるランド」 野田 利郎 氏



## III パネルディスカッション「小郡で元気に生きる」 12.20(火)



なかもら しゅういち  
司会：中村 秀一 教授  
九州大谷短期大学福祉学科

講演会や研修会の依頼へ  
応え、県内外問わず走り回  
る地域福祉の第一人者

今回の特集は、昨年末に開催した「福祉ボラン  
ティア養成講座」より、3回目に行ったパネルディスカ  
ッションの内容を抜粋してお届けします。中村秀一教授  
を司会に迎え、小郡市在住の4人のパネラーにボラン  
ティア活動を通して思うことを話してもらいました。



パネラー  
さかた ひろとし  
坂田 浩俊 さん  
個人ボランティア

ボランティア団体「くまさん  
文庫」を始めとし、元氣塾、  
福祉施設などの様々なボラ  
ンティア活動に関わる。



パネラー  
えなつ ひろあき  
江夏 浩亮 さん  
個人ボランティア

障がい児との交流を図る事  
業に長年携わる。昨年は単  
独で熊本への支援活動にも参  
加した。



パネラー  
こが たかこ  
古賀 孝子 さん  
「踊る隣組」代表

隣近所の方と踊りの団体を  
立ち上げる。子どもを含む  
メンバーで地域や施設での  
活動を行う。



パネラー  
おおいし ひろこ  
大石 弘子 さん  
「まごころ会」代表

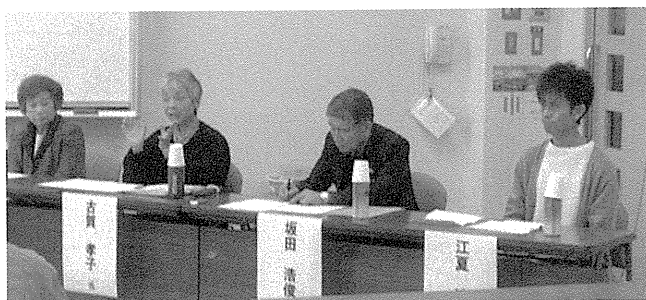
27年前に団体を立ち上げる。  
高齢者施設へ出向き、衣類  
の繕いものなどの活動を行  
う。

人との出会い

—— ボランティア活動の  
中で思っている面は？

**大石** 活動をしていて思うのは、人との出会いが多いこと。私達は高齢者施設に行つて活動していただきますので、認知症の方から名前は覚えてもらえなくても、行けば手を振つて「今日来たね」と声をかけてもらえます。27年もやっているけど、仲間同士のつながりが深くなり、身近な人には言えないことも仲間には話ができます。そんな仲間の出会いに助けられています。

**古賀** 私達は隣組で動いていますから、隣組の風通しがよくなって、大人も子どもも挨拶をするし、何事にも協力的で会話も増えました。子ども達は地域の中で遊ぶという楽しさが出てきているようです。お互いの顔が見えるのはとってもいい。隣組という単位は、全員がつながる必要はなくて、誰かと誰



かがつながっていれば結局はみんながつながれるというのをすごく感じます。

**坂田** 今までいろんな施設でボランティアをさせてもらったのですが、自宅近くの施設に重度障がい者が大勢おられるという現状を初めて知ったこと。また、その障がい者の家族の状況、施設の職員の

方々の状況などが分かって考えさせられました。それ以外にもボランティアをしている方達との交流があり、年に数回、視察研修旅行などに参加することで私の生活に大きな変化ができて非常に良かったと思います。

**江夏** 最初に思うのはやはり人との輪。あと笑顔が見れること。自分は高校生までは笑顔が出せなかつたんです。昔はどちらかというとじめられる立場だったんで表情が暗く、休み時間も一人で過ごしていました。高校生になると

福祉を学ぶ人の集まりだったので心が開けました。笑顔つて、自分も周りも元気にできるというのが実感しました。最後に、自分が素直になれること。ボランティアをしているときはいろいろな考え方が出てきます。子どもに対して、「この子はこつこつやったら笑顔が出るのかな」など考えるうちに、自分つてこつこつという考え方もできるんじゃない。

**中村** 人との関係性はかりですね。人との輪ができる。そして、人を通して自分が知らなかった世界を知る、学ぶ、自分の成長につながる。最終的に自分の発見につながる。そういうことをおつじやつていただいたのかと感じます。

「必要とされる自分」と  
「新しい自分」の発見

—— なぜボランティアを続けて  
いるのか？

**大石** 先方から来てもらいたいという要望があるということ。喜ん

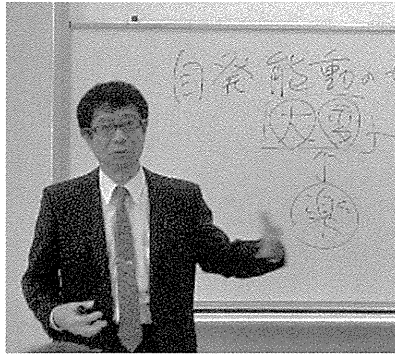
でくださる方がいること。それがあると、自分が人の役に立っているのかなと思える。また、自分の健康管理にもなっています。来月の何日に行くかと決まったら、施設ですから風邪をひいても行けなくなるので、自分達で健康管理をします。だから、仲間はみんな若いですよ。

**坂田** 私の場合は、時間が余っていること、身体がまあまあ健康で続けられること。そういう中で、ボランティアの依頼を受けること、まだまだ私に使い勝手があるというところ。たまに施設からイベントの手伝い依頼があります。自分を必要としてくれること、それらが継続している大きな要因です。



**古賀** 不思議なのは、ボランティアをやっていると思ってもみない世界が広がっていくこと。次はどうなるんだろうという面白さ、自分の知らないことを経験するというところに魅力を感じます。また子ども同士が仲良くなり、子ども達の成長が見えるし、大人も子ども達と友達になって挨拶ができるようになった。大人と違って子どもは学校があり、習い事もありで、練習の日程調整が大変です。大変だけど、辛抱強くやっていれば子どもからエネルギーをもらえる、そういうのが面白い。

**中村** ボランティアをすることが目的ではない、ボランティアを通してその後にはフワフワの世界があって、ボランティアをすることでそこに連れて行かれる。もっと言えば、自分の枠を超えているということ。またいいことばかりじゃなくて大変なこともあるという本音も出してもらいました。



**中村** 結局ボランティアって、自分・能動の世界なんだ。自分がそれをやりたい。アクションを起こすことで何かが生まれる。アクションを起こせば摩擦が起きてくる。これを古賀さんがさっき言いました。「大変

得るもの多さ

ほくにとって生きがいなんです。ね。高校生から続けているので、それが生活の一部です。ボランティア活動がなかったら、自分は何をやっているんだろうって逆に思っています。ボランティアをしている自分が本当の自分なのかな。

**中村** ボランティア活動が「自分発見」の手がかりになっているということなんですよ。この講座のタイトルが「ボランティア活動がもたらす健康と幸せ」なのですが、四人の方の話を聞いていると間違いなく幸せそうですね。やりたいことやっているんですね。

だ」と。

僕は「大変」という言葉が大好きな人間です。大変の反対は「楽」。「楽」は楽しいともいう。でも楽しいの裏には大変なことがある。人を楽しませたい、自分が楽しみたいと思えば準備や練習などやらなきゃならないことがたくさんあるでしょう。だから楽しいことの裏には大変さが必ずある。でもこの四人の方は大変さをあまり出さない。本当に大変だったら辞めればいいでしょ。実はこの大変さというのが力を与えている。「大

人間と人間の関係が希薄になった世の中ですので、ボランティア活動の効果というのは相手に与えるものばかりではなく、実は得るものの方が多いんだということをこの四人の方が教えて下さったような気がします。



ボランティアによる子どもの放課後居場所作り「タイムケア」の一場面



# まごころ会 (活動歴27年)

「まごころ会」は、地域の高齢者施設を訪問し、入所されている方が快適な日常生活を送ることができるように支援活動をしています。

平成2年に21名で設立し、現在は10名の会員で活動している団体です。



代表  
あお いし ひろ こ  
大石 弘子 さん

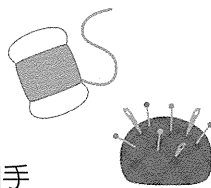
人はひとりでは生きていけない、多くの人に支えられていると思うので、私の小さな力や時間を社会に捧げることで誰かの役に立つことがあればと思い、続けています。

これまで、何度も会の存続の危機がありましたが、仲間との励まし合いが力となり今につながっています。



▲持ち物に名前を縫い付けています

- 活動日：月3回程度
- 活動場所：市内の高齢者施設
- 活動内容：\*入所者の被服の繕い  
\*手芸等の手助け・話し相手  
\*行事の際の付き添い・見守り



「活動日に向けて  
体調を整える」  
それが自分の健康にも  
つながっています。



## ボランティア 活動保険

継続加入のご希望の方は  
3月31日までに  
手続きをお願いします。



ボランティア活動中の“もしも”の事故に備え、ボランティア保険の加入をお勧めしています。活動中のご自身のケガはもちろん(傷害保険)、他人にケガをさせてしまったり、他人の物を壊してしまった際(賠償責任保険)などに対応できます。

保 険 料 (平成29年度 料金改正)	
A プラン 350 円	B プラン 510 円

- ▲3月31日までに受理した保険の補償期間は、4月1日から翌年3月31日までです。
- ▲4月以降の加入については、手続きが完了した翌日からとなる場合があります。
- ▲災害被災地の復興ボランティアにかぎり、加入した当日からの補償となります場合があります。

\*詳しくは、小郡市ボランティア情報センターまでお問合せください。

TEL/FAX 73 - 1131

# スプリングスクール ボランティア募集

グローバルネットワークおごおりでは、障がいのある小・中学生・高校生を対象に、「大きな絵の作成」「お菓子づくり」「買い物」等のレクリエーション活動を通して障がい児同士やボランティアとの交流を行っています。一緒に活動して下さるボランティアスタッフを募集します。

- ◆日時：3月28日(火)・29日(水) 9時～16時
- ◆会場：あすてらす(小郡市総合保健福祉センター)
- ◆対象者：障がい児(者)福祉に関心のある高校生以上の方(1日のみの参加も可)
- ◆定員：24名/日(※昼食は準備します)
- ◆申込締切：3月15日(水)
- ◆主催：グローバルネットワークおごおり(サポネットおごおり、こぐま福祉会、市社会福祉協議会、市福祉課の4者によるネットワーク)
- ◆申込み・問合せ：サポネットおごおり  
TEL/FAX 72-3175  
来所または電話・FAXで申込み
- ※説明会：3月26日(日) 9時～11時  
あすてらす2F 視聴覚室

平成29年度 スクール開催予定	
サマースクール	8月2・3・21・22・24日
ウィンタースクール	12月25・26日・1月5日
スプリングスクール	3月26・27日

# タイムケア 利用者募集

小郡市社会福祉協議会では、障がい児の放課後や長期休暇中の居場所づくりを目的とするタイムケアサービスを行っています。

学校でも家庭でもない場所と時間のタイムケアの中で、ボランティアとの交流や遊びなどの体験を通して、日頃と違った表情の発見や成長につながればと週に一回行っています。

- ◆日時：毎週水曜日 15時～18時  
(長期休暇中は10時～16時)
- ◆会場：あすてらす(会議室2)  
※第4水曜日は人権教育啓発センター
- ◆利用者負担：1回の利用につき500円  
(長期休暇中は1,000円)
- ◆対象者：小郡市在住の障がいのある小・中学生・高校生 ※登録制です
- ◆申込締切：3月24日(金)
- ◆申込み・問合せ：小郡市ボランティア情報センター  
TEL：73-1131

※高校生以上のボランティアスタッフ募集  
都合のよい日だけでもかまいません。随時受付けていますので、ご連絡をお待ちしています。

平成  
28年度

## 赤い羽根共同募金運動 活動実績報告

### ご協力ありがとうございました

ご協力いただきました募金は、29年度の福祉事業に活用させていただきます。



▲早朝より募金活動のご協力ありがとうございました  
(H28.10.3 津古駅にて)

募金種別	募金額
街頭募金	102,972円
イベント募金 (あすてらすフェスタ等)	9,269円
資材(バッジ等)募金 (原価 505,872円込)	1,218,500円
戸別募金	6,536,650円
個人・法人募金	1,616,885円
学校募金箱	152,218円
設置募金箱	141,280円
自販機収入寄附	54,035円
預金利子	394円
合計 (原価代差引)	9,832,203円 (9,326,331円)

# 小郡市『ふれあいネットワーク』全体研修会を開催しました。

1月18日(水) あすてらす多目的ホールにて 参加者 161名

社会福祉協議会よりふれあいネットワークの説明と3つの課題提案をしました。

- ① 見守り訪問活動が、地域で支援を必要とする方へ十分に対応できていない。
- ② 見守り訪問活動が、民生委員児童委員など一部の方に集中しているため協力者を拡げて行く必要がある。
- ③ 災害時の避難支援や安否確認などを想定した体制づくりが必要になっている。

目指すふれあいネットワーク活動として

多くの協力を得て、見守り活動を活発にすることで、支援が必要な方の見守りを充実させることができ、またそれが災害に備える強い地域づくりにつながると説明。その後、先進的な活動をされているみくに野

団地区の実践報告をしていただき、自治会組織を中核に老人会や育成会などのネットワークを活用し、連携をとりながら見守り活動を活発にしているとの報告がありました。



みくに野団地  
まつむら みつよし  
松村 光義 自治会副会長

最後に、九州大谷短期大学 福祉学科 中村秀一教授より「想い合う人の心が地域をつくる」と題し、ふれあいネットワークの重要性について講演していただき、ネットワーク活動は、共に生きる地域社会へ向けた実践活動そのものであり、自助・互助・公助の連携が必要との話がありました。



全体研修会の様子



## 小郡市障害者 地域活動支援センター

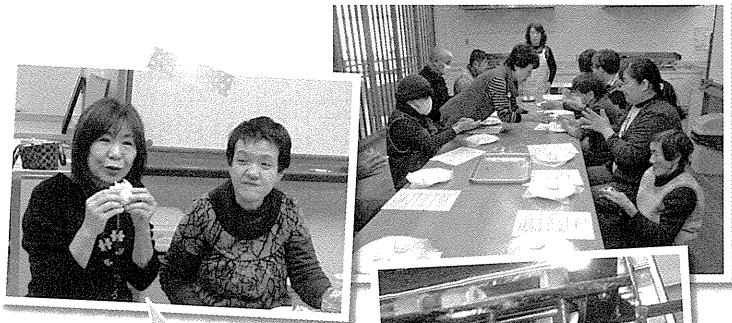
障がいの種別に関係なく、障がいのある方が地域の中で生活できるよう創作・生産活動の機会の提供や地域との交流促進を行っています。

小郡市小郡1510-1(一品香の東側)  
TEL・FAX73-0293

## 美味しい新年の始まり

1月25日(水)、じょいわーくでは、利用者の皆さんと恒例行事となっている太宰府天満宮へ初詣に出かけました。飛梅は、まだ咲いてなく楽しむことはできませんでしたが、今年一年が素晴らしい年になるように、それぞれの思いを願っていました。

お参りの後は、参加者全員、人生初の梅ヶ枝餅焼きに挑戦。参道近くにある太宰府館で初体験させていただきました。梅ヶ枝餅を食べると病魔を防ぐに効果があるとの由来をお聞きした後、餅のまめ方や焼き方の手順について説明を受けました。材料を目の前にして、「餅が丸くできるかなあ」「あんこがはみ出さないかなあ」



外はカリカリ、中はもっちり美味しい～!

焼き上げ、成功!

「うまくやけるかなあ」などなど、心配しながら講師の方の説明を聞いていました。  
いざ、本番開始。思いのほか上手く丸められ、火傷しないように注意しながら丸めた餅を鉄板に入れ、自分の好みの焦げに焼けるように、様子を見ながら鉄板を上下1分ずつ焼くと完成です。  
熱い、熱いと言いつつ、自分で作った焼き立ての梅ヶ枝餅は、最高に美味しかったです。  
美味しい新年の始まりに今年も明るく健康に過ごせそうです。



# つながる「声かけ」へ

## 声かけの工夫

シリーズ2

視覚に障がいのあるひびき（仮名）さんは、就学前の子どもさん二人のお母さん。子育てに奮闘中のひびきさんの日頃の様子をお伺いしました。

「私は、全く見えないわけではないので、白杖はあまり使いませんが、遠近感がよく分からないので段差のあるところは、特に気をつけています。」

家族や周囲の方たちに支えてもらいながら、毎日の家事と子育てに奮闘中です。息抜きに、電車で外出することもあります。不安もあるので、改札口で手帳を提示してお手伝いをお願いします。



ご主人の休日には、一緒に幼稚園の送迎に行かれています。

そんな時、周りの方から「お手伝いしましょうか。」と声をかけられることに、どう思われますか。

「手伝いの声をかけていただくのと助かりますが、白杖はあまり持ち歩かないので、障がいがあることが分かりづらく、声がかけていくかと思いません。それでも階段を降りる時は、どなたかそばについていただくと助かります。『私も階段を降りますが、一緒に降りましょうか。』などと、言っていたら、その方の様子も分かり、安心してお願いすることが出来ます。」

### つながる声かけへ

どう声をかけていいかわからない、また、支援の方法が分からず、声かけをためらいがちという人も多いのではないのでしょうか。

必要な支援は状況や場所によって様々です。

まず、「お手伝いすることはありますか。」と、声をかけることが、コミュニケーションの始まり。

何に困り、どうしたらいいか、本人の意思を尊重しながら、どのような支援を求められているか、まず、声をかけてください。



### 障がいへの正しい理解

視覚に障がいのある方はさまざまな見え方があります。

まったく見えない、文字がぼやけて読めない。

物が半分しか見えない。(図A)

望遠鏡を通してのようにはしか見えない。(図B)

このようなことから歩いているときに、物などにぶつかったり、つまずいたりされる方もいます。

(図)



(図A)



(図B)



## ～はじめのひと言 コミュニケーション～

\*支援を断られても気を悪くしないで下さい。

慣れている場所等では、支援の必要がない時もあります。

### 視覚に障がいのある方と出会ったら

困っている視覚障がいの方から、支援を求めることは難しいことです。戸惑っている方を見かけたときは、まず声をかけてください。支援を求められたら何をすればよいか、確認して下さい。

また、白杖を持っている、盲導犬と一緒にいるように、一見して視覚に障がいがあると分かる方もいますが、外見から分かりにくい方もいます。「見えにくいので…」などと言われた時は、支援をお願いします。



### 支援するときに配慮してほしいこと

- ①名前を伝える。  
声をかけてもらっても誰なのか分からないと困ってしまいます。名前や簡単に状況を伝えてもらえると安心です。
- ②正面から声をかける。  
遠くからの声かけは、気づかない時があります。そばまで行って、正面から声をかけてください。
- ③「危ない!」ではなく、具体的に状況を説明する。  
緊急避難のために、強引に誘導が必要な場合もあります。そうでない時は、具体的に説明をしてください。





次の方々から温かいご寄附をいただきました。お届け頂きました寄附金は、小郡市内の福祉向上のため大切に使用させていただきます。

(平成28年11月15日〜平成29年2月15日)

●香典返し寄附(順不同)

故人となられた方のご冥福を心からお祈り申し上げます。

- 立石区 平島 邦子 様 (故夫 春由様)
- 八坂区 古賀 敏幸 様 (故母 一二三様)
- 花立区 深山 冨子 様 (故父 益美様)
- 大保区 美山シナエ 様 (故夫 米生様)
- 中央2区 高木 太二 様 (故妻 奈美子様)
- 小坂井2区 川原 忠雄 様 (故妻 穎子様)

●物品寄附

・公益社団法人 久留米法人会 車椅子 2台

●一般寄附

- ・七夕市民チャリティゴルフ実行委員会
- ・モダン・ダンス
- ・レッツ・ダンス21
- ・小郡市商工会女性部
- ・みずび保育園
- ・下町区 匿名
- ・駅前区 匿名
- ・三国が丘2区 匿名



▲車椅子の利用要望が多くなっています。大切に使用させていただきます。

「親睦を深める。大原校区 老人クラブ活動」

大原校区老人クラブは、6行政区で会員数は、450名、世帯数は377世帯で活動をしています。校区で取り組む活動は、まず春秋の年2回、20位まで表彰するグランドゴルフ大会を開催します。毎回、約90人とたくさんの方が参加があり、体を動かしながら楽しむことができます。次に、健康教室も年に2回、開催をします。昨年は8月に「食」をテーマに、市健康課の佐々木さんからお話を伺いました。元気で生活をしていくには食生活を見直し塩分控えめ、酒控

えめの食習慣。酒好きの人には痛いところですが、とても良いことを学びました。

また1月には、弥生園にお願いし、福山泌尿器科医院の田上先生より泌尿器科の話を聞きました。尿漏れ等で、乗り物に長い時間乗れない、急に尿意を催すなどのため、外出を控え、人との付き合いもためらうなど躊躇している方々の生活が少しでも改善できればと思います。2月には、90名の参加で「直方いこいの村」に出かけ、大原校区の親睦を深めてまいりました。

これからも老人クラブをよろしくお願い致します。  
(大原校区会長 田中克幸)



ホームヘルパー 3名 募集

勤務の詳細については、お問合わせください。  
【問合せ】小郡市社会福祉協議会  
☎73-1120



田上先生の講話に、多数の参加がありました。

# あなたの悩みを心配ごと相談へ

相談事業は、心配ごと・困ったこと等、住民の生活に関わる様々な問題を気軽に相談できる窓口です。

- ◆場所 小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」1F 相談室
- ◆日時 毎週木曜日 午後1時～4時
- ◆体制 心配ごと相談（第1、3、5木曜日）は、相談員2名で対応します。  
弁護士相談（第2、4木曜日）は、弁護士1名と相談員2名が同席し対応します。  
相談日が祝日の場合は翌日に行います。詳細は社会福祉協議会窓口でお尋ねください。
- ◆お願い 弁護士相談の申込みは下記の日程表の通りです。  
電話【73-1120】による受付予約制、先着6名まで受付。希望者が多く相談をお受けすることができない場合があります。**※来所による受付は行っておりません。**



3月の相談日程		4月の相談日程		5月の相談日程	
2日	心配ごと相談	6日	心配ごと相談	11日	弁護士相談 *予約日: 5/2 (火) 午前9時～
9日	弁護士相談 *予約日: 3/2 (木) 午前9時～	13日	弁護士相談 *予約日: 4/6 (木) 午前9時～	18日	心配ごと相談
16日	心配ごと相談	20日	心配ごと相談	25日	弁護士相談 *予約日: 5/18 (木) 午前9時～
23日	弁護士相談 *予約日: 3/16 (木) 午前9時～	27日	弁護士相談 *予約日: 4/20 (木) 午前9時～		
30日	心配ごと相談				

## 熊本地震災害義援金

総額 **1,427,926円**

2月15日現在

お寄せいただきました義援金は、熊本県共同募金会へ送金いたしました。

【領収書の発行】  
義援金寄付の領収書が必要な方は、お申し出ください。  
税制上の優遇措置  
所得税、法人税の適用対象となります。



### チャリティー健康ヨガ教室

第36回 2月5日開催  
義援金 5万9,745円  
熊本地震災害義援金として送金させていただきました。  
※第37回 開催日のご案内  
◎4月23日(日) 10時30分～  
会場: あすてらす

## 無料相談会

税金に関する相談

- ◎ 3月4日(土) ◎ 4月4日(火)
  - ◎ 5月13日(土) ◎ 6月6日(火)
- 【時間】 13時～16時

※予約優先、お一人30分程度  
【会場】 あすてらす 会議室2  
【問合せ】 藤井税理士事務所  
☎ 72・4322

## 遺言・相続等に関する相談

- ◎ 3月9日(木) ◎ 4月13日(木)
  - ◎ 5月11日(木) ◎ 6月8日(木)
- 【時間】 10時～16時

※予約優先、お一人30分程度  
【会場】 あすてらす 会議室2  
【問合せ】 徳永行政書士事務所  
☎ 80・8291

## 生活困窮者自立相談事業

物品寄附のお届け、ありがとうございます。

- ・下村 靖子 粉ミルク
- ・大城 靖孝 米10kg
- ・匿名 トイレレットペーパー
- ・匿名 粉ミルク
- ・匿名 米30kg
- ・匿名 冷蔵庫

引き続き支援物品の寄附をお寄せください。よろしくお願いいたします。  
《特に必要なもの》

◎米  
○テレホンカード  
(使用中のカードでも構いません)  
【問合せ】 ☎ 73・1120  
小郡市社会福祉協議会  
生活支援係

**無料送迎と訪問診療のご案内**

**無料送迎** 完全予約制にて車で、無料送迎いたします。  
まずは受付にお電話してご予約ください。

**訪問診療** お一人でタクシーやバスなどで病院に通院できない方に、先生がお伺いして歯の治療をすることができます。  
訪問先：お住まいのご自宅・施設や入院先の病院など。

一般歯科・小児歯科・訪問歯科  
審美歯科・ホワイトニング・インプラント 相談無料

**りんご歯科**  
RINGO DENTAL CLINIC  
月～土・祝日 9時から19時まで診療  
福岡県小郡市三沢4795-9 TEL(0942)75-7118

介護保険サービス事業所  
**Su ketto** 株式会社 **すけっと**

**●介護保険サービス**  
**●福祉用品レンタル事業**  
・電動ベッド・車イス  
・歩行器・電動四輪車  
**●住宅建築**  
**●住宅改修工事**  
・手すり・スロープの取り付け  
・トイレ・浴槽の交換  
・その他リフォーム

福祉用品カタログあります

小郡市小郡字正尻1572番地1  
TEL(0942)72-5617 FAX(0942)72-5618

福岡県認定 高齢者向け優良賃貸住宅

**シルバーハウジング胡蝶閣**

施設見学会 随時受付中  
お気軽にお問合せください

特定非営利活動法人 **武光福祉会**  
福岡県朝倉郡筑前町高田2315-3 お問い合わせ ☎ 0946(22)9743  
【ホームページ】<http://www.takemitu.org> 胡蝶閣 | 検索

～地域のなかの安心できる居場所に～

放課後デイサービス事業  
児童発達支援事業  
児童デイサービス **わくわく**  
電話 0942-72-0835

相談支援事業  
特定相談支援事業  
相談支援事業所 **dai dai**  
電話 0942-73-1050

高齢者介護事業・障がい者福祉事業・障がい児支援事業

**有限会社 大智會**  
〒838-0141 福岡県小郡市小郡98-1 サンハイツ小郡101  
電話 0942-73-1050 Fax 0942-72-0836  
【ホームページ】<http://daichikai.net/>

小郡の中心地にある好立地の霊園

**小郡 光明霊園**

先着順 好評受付中!!

宗旨・宗派は問いません。 駐車場・水道・外灯完備

現地案内無料  
〈霊園住所〉小郡市小郡1042 ◎鳥橋JCTから車で約5分 ◎西鉄小郡駅から車で約5分

好立地・小区両数の為、お申し込みはお早め!!  
お問合せ、お申し込み・ご案内は  
0120-63-2833

管理代行・各宗寺院部用達、仏壇製造販売、墓石設計・施工・販売  
お仏壇の **まつお**  
株式会社 松尾仏具本店  
お仏壇のまつお【本店】みやま市瀬高町長田874-2 【久留米店】久留米市東柳原町212-1

白木のいちご **しあわせもん**  
Since 1985

おかげ様で32年目!!  
いちごの直売・ギフト・いちご狩り お任せ下さい!  
栽培品種 **とよのか あまおう おいCベリー**

時期/11月頃～5月下旬頃まで  
クール便にて地方配送承ります

1月頃～6月 いちご狩り できます!  
川ガメの 養育くんも 待ってるよ

白木のいちご **白木のいちご 白木秀弥**  
〒838-0105 小郡市横隈1706-1  
TEL(0942)75-6810・FAX(0942)75-7625  
携帯 090-8832-8391  
ホームページ <http://www.shiraki-ichigo.com>